

東京・浅草寺

歳の市 羽子板市

江戸時代から続く暮れの風物詩、東京・浅草寺の「歳の市 羽子板市」。毎年12月17～19日の3日間開かれ、今年度は土曜日からのスタートとなり、多くの人出で賑わった。近年人気の振袖物や伝統的な歌舞伎物から1年の世相を表した変わり羽子板まで、彩り・作風ともに多彩な羽子板が並んだ。

また、東日本大震災支援の「チャリティー羽子板」、東京藝術大学学生×羽子板職人の「コラボ羽子板」の展示や、恒例の「お絵書き羽子板」や「手形羽子板」のお楽しみコーナーも。本堂では羽子板供養の受付、10尺（3m）の特大羽子板の展示が行われた。

(取材協力／東京歳之市羽子板商組合)

- 平成23年 12月17日(土)～19日(月)
- 場所 浅草寺五重塔前(東京都台東区)
- 主催 浅草歳の市実行委員会
東京歳之市羽子板商組合
- 後援 (協)浅草商店連合会 台東区
東京都 浅草観光連盟
- 出店数 約50店(羽根・凧等含む)



▲本堂で特大羽子板を展示



▲少年マンガ「ワンピース」の登場人物や、観音さまを押絵で表した特製羽子板も



▲藝大生×職人の「コラボ羽子板」



▲子供たちが参加、元気いっぱい「お絵書き羽子板」



歌舞伎役者らによる直筆羽子板で、震災復興支援！

